

平成 23 年度環境技術実証事業 VOC 簡易測定技術分野  
PR 資料の活用について

平成 23 年 12 月 2 日  
実証運営機関  
(公社)日本環境技術協会

1. PR 資料策定の経緯について

VOC 簡易測定技術分野については、アジアを中心とした海外展開の重要性が WG 委員より指摘されており、平成 22 年度については、平成 21 年度実証試験結果報告書の英訳を行ったところ（平成 23 年度第 1 回分野別 WG 会合資料）。

本年度については、実証運営機関である(公社)日本環境技術協会において、実証事業及び本分野の内容と、これまでに実証された技術の概要をまとめた資料（環境技術実証事業 VOC 簡易測定技術分野の概要：PR 資料）を作成し、英語、及びアジア各国の言語に翻訳することとされた。

2. PR 資料の内容及び翻訳について

PR 資料については、第 2 回 WG 会合で内容を検討した上で、中国語・韓国語・ベトナム語・インドネシア語・タイ語に翻訳した（資料 2-2～2-7）。最終確定は平成 24 年 2 月を見込んでおり、内容について改善すべき点等あればご議論いただきたい。

3. 今後の活用について

- ・実証申請者による利用
- ・国内、国際学会等での配布

その他、PR 資料の有効利用の方法について、ご議論いただきたい。